

東京大学における外国人留学生の図書館・ 情報サービス利用の実態

—アンケート調査の結果と分析—

生涯教育計画コース	三 浦 逸 雄
生涯教育計画コース	呉 凱
生涯教育計画コース	顧 銘
大学評価・学位授与機構	芳 鐘 冬 樹

A Survey on International Students' Use of Library and Information Services in the University of Tokyo.

Itsuo MIURA, Kai WU, Ming GU, Fuyuki YOSHIKANE

This survey aims to discover how international students get information and use library services for their study and daily life. The questionnaire survey was conducted in Dec. 2001 and 478 completed questionnaires (23.5%) were returned.

The questionnaire falls into three categories: (1) Questions about satisfying their information needs; (2) Questions about using libraries in the University; (3) Questions about personal data.

The main findings of the survey were as follows: (1) Most valuable information resources for students are collections of libraries in the University and Internet; (2) Main information resource about students' homeland is Internet; (3) As well as WebOPAC, circulation and copy services of the libraries are used frequently, but reference service, ILL, online databases, and user instructions are used infrequently; (4) Services for international students (book corner for the international students and scholars, satellite television system, and foreign newspaper corner), provided by the General Library, are used scarcely; (5) Most of the respondents want strongly the libraries to strengthen the collection of English books and journals for their learning and research.

目 次

付録 1

付録 2

1. はじめに—調査の背景
2. 調査の対象と方法
 - A. 調査対象
 - B. 調査方法
3. 回答の集計結果と分析
 - A. 外国人留学生の資料・情報ニーズの充足手段について
 - B. 外国人留学生の図書館の利用状況について
4. まとめと課題
 - A. 調査結果のまとめ
 - B. 今後の課題

1. はじめに—調査の背景

留学生の交流は、相互理解に基づく諸外国との国際関係及びグローバルに開かれた社会の構築にとって、極めて重要な意義をもつものであることは言をまたない。1901年(明治34年)に制定された文部省直轄学校外国人特別入学規定に基づき58人の外国人留学生が入学し、公式の留学生受入れ制度が発足してからすでに100年が経過している¹⁾。この100年の歴史の中でも、1983年の「21世紀への留学生政策に関する提言」および

1984年の「21世紀への留学生政策の展開について」の提言のなかで示された、いわゆる「留学生受入れ10万人計画」はとりわけ際立っている。この施策に基づいて、日本政府は留学生の受入れを積極的に推進してきた。その結果、在日留学生数は著しく増加し始め、1983年当時、1万人程度しかなかった留学生数が、2001年5月1日現在では78,812人に達している²⁾。近年、伸び率が鈍化してきているという指摘はあるものの、このような留学生の急増に対して、教育体制や支援体制などの様々な面での条件整備が追いついていないのが実情である。文部省留学政策懇談会による1999年の答申では我が国の留学生政策に関して次のような認識が示されている。

「今や、留学生政策を取り巻く環境は大きく転換しようとしている。留学生の教育研究ニーズは大学院志向が高まり、理工系技術者のほか将来を担う指導者や高度専門職業人の育成などに多様化しつつある。また大学の国際的な評価が進みつつあり、留学生の受入れについても、欧米諸国等の大学との競争が強まる傾向にある。国際競争力を強化するため、大学の構造改革は今や避けて通れない課題である。また、厳しい財政状況の中、留学生政策のほとんどを依存するODA予算についても見直しが進められており、我が国の留学生政策についても質的充実への重心の転換が迫られている。」³⁾

大学図書館は高等教育体制の中で不可欠な要素として、これまで留学生の学習や研究を主に情報と資料の面から支援してきているが、図書館サービスを中心とする情報・資料提供サービスにはさらに充実・改善すべき点はまだ数多くあると思われる。そのため、留学生が日頃の学習や研究を進める上で必要な情報や資料をどのような方法で探し、入手し、利用しているかについての実態を把握する必要がある。我が国では、留学生サービスに関して大学図書館を対象とした調査は若干みられるが^{4) 5) 6)}。留学生本人を対象にした実態調査はこれまでほとんど試みられてこなかった。そこで東京大学に在籍している外国人留学生を対象に、彼らの情報・資料についてのニーズや利用行動を明らかにし、その結果を附属図書館の情報・資料提供サービスの充実・改善に役立てることを目的として調査を実施した。本稿はその結果と分析の報告である。

2. 調査の対象と方法

A. 調査対象

東京大学は大学院生を中心に、日本でもっとも多くの外国人留学生を受入れてきた大学である。1985年に723人であった東京大学の外国人留学生は毎年増え続け、ここ数年は伸び率が鈍化しているとはいえ、2001年5月1日現在、83の国々から学部、大学院、研究所などに2,037名の外国人留学生を受入れている⁷⁾。その内訳は学部学生192人、学部研究生37人、大学院生(修士)472人、大学院生(博士)908人、大学院生(研究生)408人、研究所研究生20人で、大多数が大学院生と大学院研究生である。また、国・地域別に見るとアジア諸国からの留学生が圧倒的に多く、全体の8割を占めている。今回は、学部留学生を含む外国人留学生全員を調査対象として、アンケート調査を行った。

B. 調査方法

調査の具体的な手順としては、まず東京大学事務局留学生課を通して、各部局、各研究室宛にアンケート調査票を送付し、そこから留学生個人に調査票を手渡してもらう方法をとった。ただし、各部局・研究室での配布方法は様々である。2001年12月18日、19日にアンケート調査票を送り、締め切り日は2002年1月31日に設定した。アンケート調査票は日本語と英語のものを各一部作成し、その両方を調査対象者に配って、いずれかひとつの調査票で回答してもらった。

調査票(付録参照)は全部で18の設問から構成されており、それぞれの設問は「情報・資料ニーズの充足手段」(問1~2)、「図書館の利用状況」(問3~13)、「プロフィール」(問14~18)という3つの大きな項目のものと括られている。

3. 回答の集計結果と分析

2002年1月31日の時点で、474通の調査票を回収した。その後送られてきた4通の回答も含めて総回収数は478通で、回収率は23.5%である。このうち、日本語と英語の調査票での回答はそれぞれ273通(57.1%)と205通(42.9%)である。英語回答の大部分(177通, 86.3%)は理系留学生からのものである。また図1に示した国・地域別の回答者数の割合は、東大在籍留学生全体の国・地域別の割合とほぼ一致している。在籍段階別の回答者数とその東大在籍者数に占める割合は

図1 国又は地域別の回答者の比率

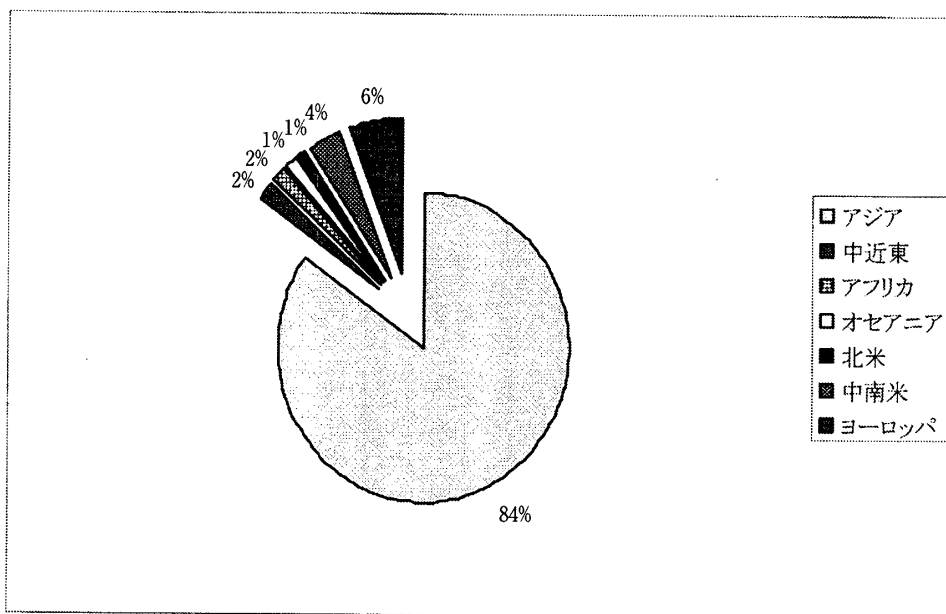


表1 在籍段階別の留学生数と回答者数

	学部学生・研究生		大学院生・修士		大学院生・博士		大学院研究生		研究所研究生		合計
	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	
留学生数	151	78	143	329	264	644	222	186	0	20	2037
回答者数	3	15	22	97	28	218	19	48	0	9	459
回答率	2.0%	19.2%	15.4%	29.5%	10.6%	33.9%	8.6%	25.8%	0.0%	45.0%	22.5%

表1に示したように、学部学生と学部研究生ではそれぞれ8%前後、大学院生(修士課程・博士課程)では在籍者数の約4分の1である。

本稿では、学部学生と大学院生の学習・研究スタイルがかなり違うことなどの理由から、文系・理系別で集計する際には、学部留学生を除き、大学院生、大学院研究生、研究所研究生だけを対象にした。表2に示したように大学院レベルの回答者(修士学生、博士学生、大学院研究生、研究所研究生を含む)のうち、理系の留学生は372人で東大在籍の理系留学生全体の31.6%であり、文系の留学生は69人で全体の11.0%である。

表2 大学院レベルの回答者数(文系・理系別)

	文系	理系	合計
留学生数	629	1179	1808
回答者数	69	372	459
回答率	11.0%	31.6%	25.4%

また今回の調査では文系の留学生の回答率が低かったため、全般的な傾向もかなり理系大学院生に偏って

いることに留意する必要がある。さらに、文系・理系別ではとくに顕著な差が認められた回答結果だけを取り上げた。この場合でも文系の回答率が低いことを念頭に置く必要がある。

A. 外国人留学生の資料・情報ニーズの充足手段について

この項目のもとでは「学習や研究に関する資料・情報の入手方法」(質問1)と「母国に関する情報の入手方法」(質問2)という2つの質問を設けた。その回答結果は以下の通りである。

1. 質問1について9つの「資料・情報の入手方法」を挙げ、それぞれの利用頻度を調査した結果が表3である。「よく利用する」という回答の割合が高いのは、「インターネット」、「東大の図書館」、「所属している研究室」の順である。「あまり利用しない」の割合が高いのは、「書店で購入」、「友人などから」、「教員から」である。「利用しない」の割合が高いのは、「地域の公共図書館」と「東大以外の専門図書館・大学図書館」で、それぞれ回答者の半数以上が選択している。その他の資料・情報の入手方法として最も多く挙げられたのは

表3 資料・情報の入手方法

入手方法	よく利用する		あまり利用しない		利用しない		合計	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率
東大の図書館	372	78.1%	95	20.0%	9	1.9%	476	100%
東大以外の専門大学図書館	48	10.1%	182	38.5%	243	51.4%	473	100%
地域の公共図書館	56	11.8%	131	27.7%	286	60.5%	473	100%
所属研究室の資料	335	70.4%	116	24.4%	25	5.3%	476	100%
インターネット	433	90.8%	40	8.4%	4	0.8%	477	100%
書店で購入	132	27.8%	253	53.3%	90	18.9%	475	100%
友人など	125	26.4%	271	57.3%	77	16.3%	473	100%
教員	172	37.7%	219	48.0%	65	14.3%	456	100%

「母国から」で、次に多いのが「研究会、ゼミ、会議から」である。

8割近くの回答者が東大の図書館・室をよく利用しているという結果から、東大の図書館・室は、サービスの満足度は別にして、留学生にとって資料・情報を入手するための主たる手段であることが確認された。

「資料・情報の入手方法」に関して理系と文系によって、顕著な違いが認められるのは(図2)、「書店で購入」、「地域の公共図書館の利用」、「東大以外の専門図書館・大学図書館」という方法である。文系の留学生の半数以上が書店をよく利用しており、また東大以外の専門図書館・大学図書館、地域の公共図書館の利用も理系の留学生に比べて比較的活発といえる。

2. 「母国に関する情報の入手方法」(質問2)では、表4に示したように最もよく利用する入手方法は「インターネット」であり、「よく利用する」という回答が9割近くを占めている。残りの入手方法についてはすべて「あまり利用しない」または「利用しない」と回答した

割合の方が高かった。その他の方法としては、「日本や母国にいる友人や家族から」情報を入手する方法が最も多く挙げられている。

今後ますますインターネットを通して、世界各国の様々な情報が容易に入手できるようになってくるので、印刷媒体による英語や母国語の新聞・雑誌類の利用率がさらに低下することが予想される。

理系・文系別の回答結果(図3)から、日本語の新聞雑誌の利用については、理系より文系の留学生が「よく利用する」と答えた割合が高く、英語の新聞雑誌、英語母国語以外の外国語新聞雑誌の利用については、理系に比べて文系の留学生が「あまり利用しない」または「利用しない」と答えた割合の高いことが明らかである。

B. 外国人留学生の図書館の利用状況について

東大の図書館・室の利用および図書館サービスの利用について11の質問を設けた。その回答結果は以下の

図2 資料・情報の入手方法(理系・文系別)

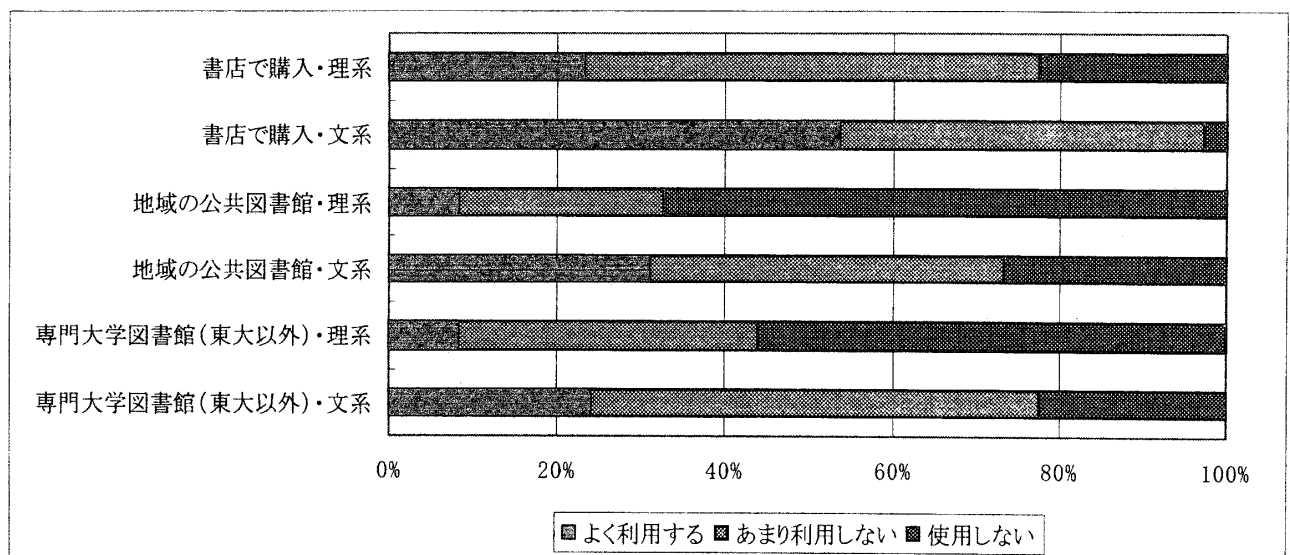
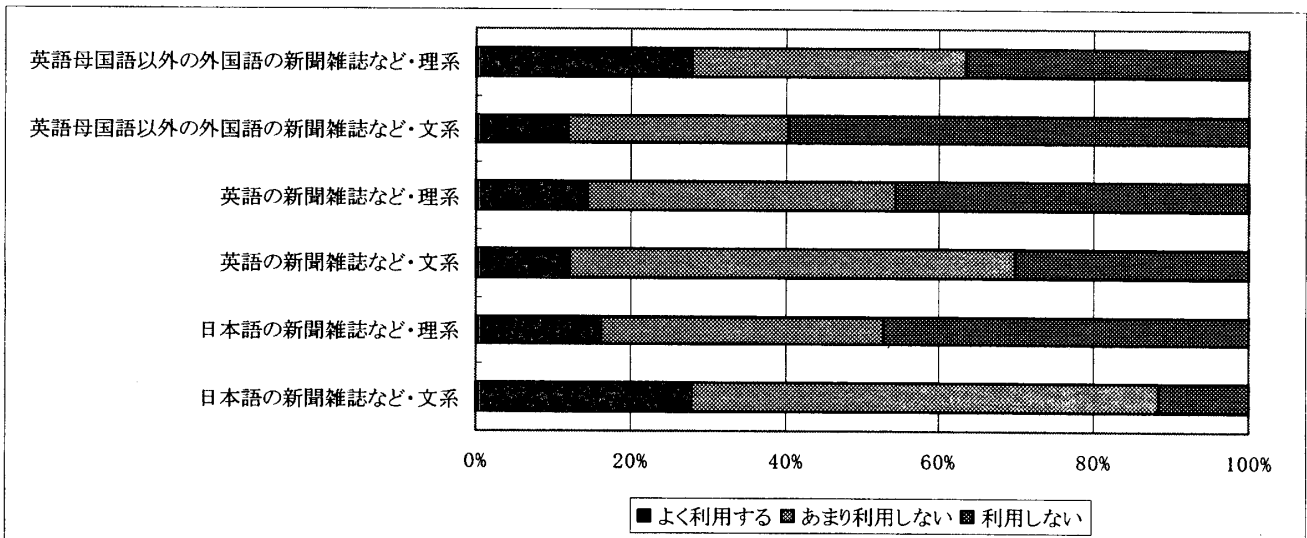


表4 母国に関する情報の入手方法

入手方法	よく利用する		あまり利用しない		利用しない		合計	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率
インターネット	417	87.2%	52	10.9%	9	1.9%	478	100%
日本語の新聞雑誌など	83	17.6%	185	39.3%	203	43.1%	471	100%
英語の新聞雑誌など	67	14.3%	199	42.3%	204	43.4%	470	100%
英語母国語以外の外国語の 外国語の新聞雑誌など	130	27.9%	159	34.1%	177	38.0%	466	100%
日本で出版された母国語の 母国語の新聞雑誌など	102	21.7%	160	34.1%	207	44.1%	469	100%
母国で出版された新聞雑誌など	164	34.6%	201	42.4%	109	23.0%	474	100%
テレビやラジオ	173	38.2%	180	39.7%	100	22.1%	453	100%

図3 母国に関する情報の入手方法(理系・文系別)



通りである。

1. 「東京大学における図書館・図書室の利用」(質問3)に関する回答の集計結果を示した表5にみられるように、最もよく利用されているのは「所属の図書館・図書室」であり、回答者の8割以上を占めている。「総合図書館」と「それ以外の図書館・室」の利用率は比較的低くなっている。この結果は部局図書館・室が研究図書館的機能を果たしている東大の附属図書館システムの特色によるものと解釈することができるかもしれない。

質問3の理系・文系別の集計結果(図4)をみると、

特に総合図書館の利用については理系より文系の留学生がよく利用する傾向が認められる。

2. 「東京大学図書館・図書室が提供しているサービスの利用」(質問4)に関する回答の集計結果を表6に示した。それによると、よく利用されるサービスは「図書の閲覧・貸出・コピー」がもっとも多く、次に「雑誌の閲覧・貸出・コピー」、「コンピュータ機器の利用」が続いている。「レファレンス・サービス」と「相互貸借サービス」については、半数近くの回答者が一回も利用したことがないと答えている。

質問4についての理系・文系別の集計結果(図5)か

表5 東大の図書館・室の利用

	よく利用する		あまり利用しない		一回も利用したことがない		合計	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率
総合図書館	177	37.2%	230	48.3%	69	14.5%	476	100%
所属の図書館・室	398	83.6%	68	14.3%	10	2.1%	476	100%
それ以外の図書館・室	117	24.6%	239	50.3%	119	25.1%	475	100%

図4 東京大学における図書館・室の利用(理系・文系別)

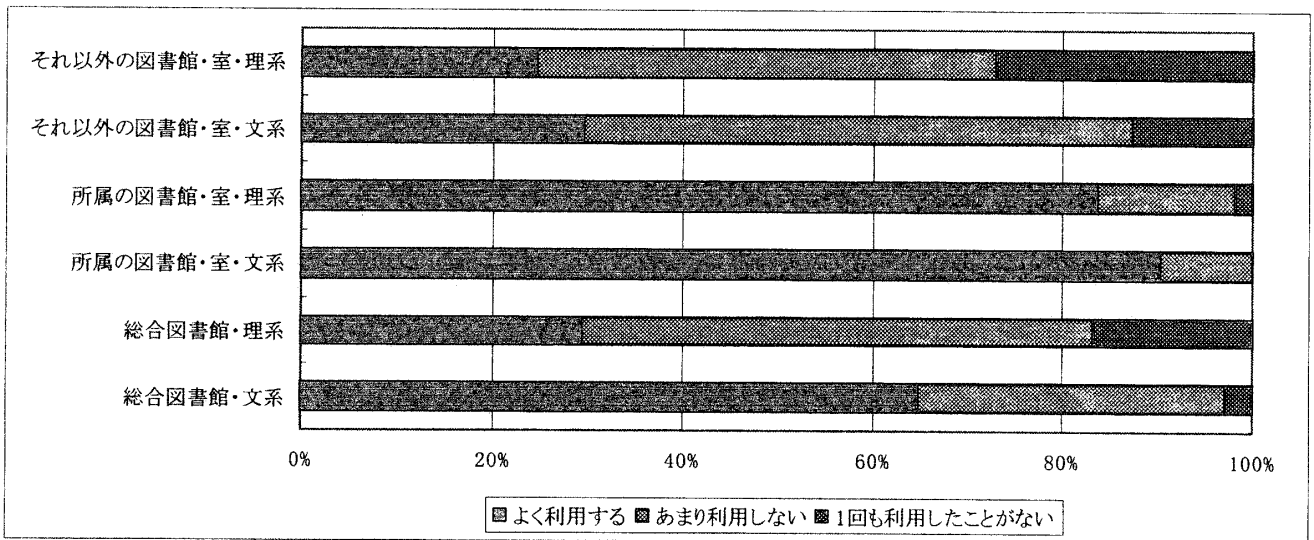
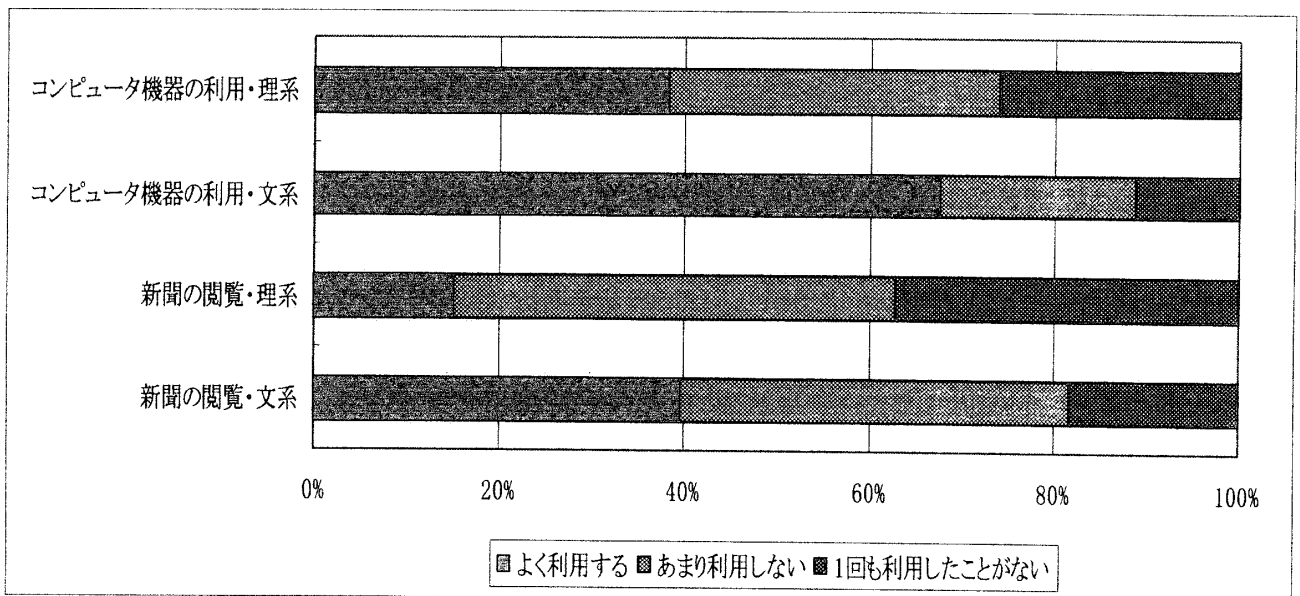


表6 東大の図書館・室が提供しているサービスの利用

	よく利用する		あまり利用しない		一回も利用したことがない		合計	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率
図書の閲覧・貸出・コピー	369	77.5%	97	20.4%	10	2.1%	476	100%
レファレンスサービス	87	18.5%	172	36.6%	211	44.9%	470	100%
雑誌の閲覧・貸出・コピー	274	57.9%	145	30.7%	54	11.4%	473	100%
相互貸借サービス	90	19.1%	157	33.3%	225	47.7%	472	100%
新聞の閲覧	98	20.8%	214	45.3%	159	33.7%	472	100%
コンピュータ機器の利用	210	44.4%	156	33.0%	107	22.6%	473	100%
学習ためのスペース	136	30.3%	203	45.2%	110	24.5%	449	100%

図5 東京大学図書館・室が提供しているサービスの利用(理系・文系別)



ら、コンピュータ機器の利用と新聞の閲覧に関して理系より文系の留学生がよく利用する傾向が認められる。これは文系の研究室におけるコンピュータの利用環境が理系ほど整っていない実状が反映されているのかもしれない。

3. 「東京大学の WebOPAC の利用頻度」(質問 5) についての回答結果を示した表 7 をみると、「よく利用する」という回答を選択した留学生が最も多く、6 割以上を占めている。その一方で WebOPAC を「知らない」と「利用したことがない」という回答が、併せて 14.5% にのぼっている事実についてはよく検討する必要がある。

「東京大学の WebOPAC の利便性」(質問 6) については表 8 に示したように、最も多くの回答があったのは「全体として利用しやすいが、利用しにくい部分もある」で、5 割強を占めている。これに「利用しやすい」という回答を併せると 9 割以上になり、ほとんどの回答者は、利用上問題はあるものの基本的には東大 WebOPAC に肯定的な評価を与えているとみて差し支えないといえる。「利用しにくい」理由として、「抄録がないため」、「貸出状況がわからないため」、「キーワードで検索しにくい」などが挙げられている。

4. 表 9 に示したように「東京大学の図書館・図書室

が提供しているデータベースの利用」(質問 7) については、「よく利用している」という回答が最も多く、4 割を超えている。また「知っているが利用したことがない」理由の約 7 割は「使い方がわからない」、約 1 割は「必要がない」という回答であった。その他に「知っているが利用したことがない」の理由として、「データベース上で登録されている論文の原文が東大で入手できない」、「データベースより電子ジャーナルの方をよく使っている」などの理由が挙げられている。

5. 「東京大学附属図書館が提供している電子ジャーナルの利用」(質問 8) は、「データベースの利用」と状況が類似している。表 9 をみると約 5 割の回答者が「よく利用している」と答えている。「知っているが利用したことがない」理由の 6 割近くは「使い方がわからない」、3 割近くは「必要がない」という回答であった。その他に「電子ジャーナルの種類が足りない」という理由も挙げられている。

質問 8 の理系・文系別の集計結果(図 6)によって、文系より、理系の留学生は電子ジャーナルをよく利用する割合が強い傾向が認められた。これは理系の電子ジャーナルの種類が多いためと、雑誌論文は理系の学生にとって主要な研究資料になっているためと推測される。

表 7 東大の WebOPAC の利用頻度について

利用頻度	よく利用する	あまり利用しない	知らない	利用したことがない	合計
回答数	316	88	39	30	473
比率	66.8%	18.6%	8.2%	6.3%	100.0%

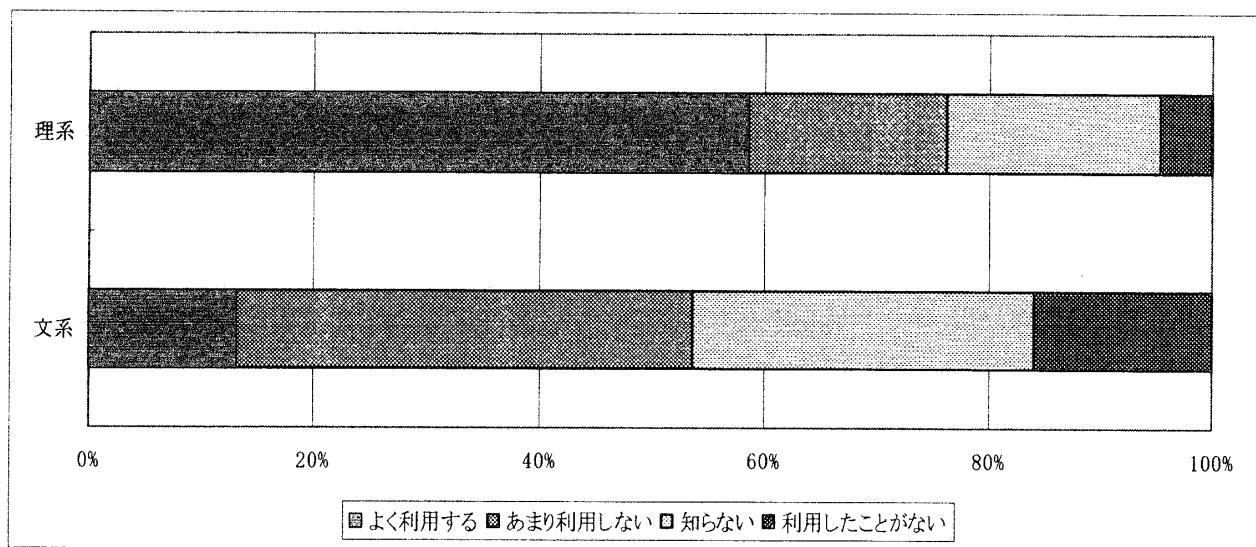
表 8 東大 WebOPAC の利便性

利便性	利用しやすい	利用しにくいところがある	利用しにくい	わからない	合計
回答数	164	217	15	18	414
比率	39.6%	52.4%	3.6%	4.3%	100.0%

表 9 東大図書館・室が提供しているデータベース、電子ジャーナル、留学生サービス

	データベース		電子ジャーナル		留学生図書コーナー		衛星放送		母国語の新聞	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率
よく利用する	217	45.5%	232	49.3%	60	12.8%	35	7.5%	85	18.3%
あまり利用しない	129	27.0%	97	20.6%	136	29.0%	100	21.5%	136	29.2%
知らない	91	19.1%	97	20.6%	196	41.8%	212	45.6%	115	24.7%
利用したことがない	40	8.4%	45	9.6%	77	16.4%	118	25.4%	129	27.7%
合計	477	100%	471	100%	469	100%	465	100%	465	100%

図6 東京大学附属図書館が提供している電子ジャーナルの利用(理系・文系別)



6. 東京大学総合図書館では、海外からの研究者及び留学生に対して、日本語、日本の歴史・文化・地理等を理解するための資料を備えた留学生図書コーナー、CNN、BBC、CCTV(中国)を受信できる衛星放送設備(各放送に対してテレビ1台、イヤホン5つ用意)、12ヶ国語の新聞紙を置いた外国語新聞コーナーを設けている。

表9にみられるように、これら3つのサービスの利用率はそれほど高くない。特に問題なのは「留学生コーナー」と「衛星設備」については4割以上、「母国語の新聞」については2割以上が「知らない」と回答していることである。この種のサービスについては広報の手段・方法を改善する必要があるとされている。

7. 東京大学の総合図書館や多くの部局図書館・室では図書館利用のためのオリエンテーションを実施している。また東京大学情報基盤センターは、OPACなど基本的なデータベースの使い方、雑誌記事索引データベースや引用索引データベースなど各専門分野の文献データベースの検索実習を中心に、文献調査法と電子ジャーナル利用の講習会を定期的に行っている。

そこで「総合図書館や部局図書館・図書室が提供しているオリエンテーションの参加状況」(質問10)についてたずねたところ、表10にみられるように8割近く

の回答者はオリエンテーションに「参加したことがない」と答えている。さらにオリエンテーションに「参加したことがある」者の7割は「オリエンテーションは役に立っている」と答えている。「参加したことがない」理由として、回答者のうち7割近くはオリエンテーションを「知らない」と答えている。

同じく表10にみられるように、「東京大学情報基盤センターが開いているデータベース定期講習会の参加状況」(質問11)も、「参加したことがない」という回答が8割強であり「オリエンテーションの参加状況」に類似した結果となっている。講習会に参加したことのある者のうち、講習会が「役に立っている」と答えているのは半分にとどまっている。

総じて、東京大学が提供している各種の利用者教育に参加したことがない回答者の割合はかなり高く、その理由の多くは「知らない」と答えている。この点から、利用者教育の内容や広報について再検討する必要があるとされている。

8. 「東京大学の図書館に望んでいるサービス」(質問12)について、希望するサービスに関する回答の集計結果を表11に示した。質問のなかで回答選択肢として挙げたサービスについては、ほとんど「強く望む」または「望む」という回答が得られた。このうち、「英語の資料の増加」と「文献情報の探し方を分かりやすく説明すること」に対する要望が最も強く、回答者の約9割がそれらのサービスを望んでいる。さらに回答者の6割以上が「自分の国(言語)の資料の増加」、「資料や情報の収集を図書館員に手伝って欲しい」、「学習のスペースの増加」、「留学生担当者の職員の配置」といったサー

表10 利用者教育への参加状況

	オリエンテーション		データベース定期講習会	
	回答	比率	回答	比率
参加したことがある	108	22.9%	85	18.2%
参加したことがない	363	77.1%	383	81.8%
合計	471	100.0%	468	100.0%

表11 東大の図書館・室に対する希望

	強く望む		望む		望まない		合計	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率
自分の国(言語)の資料の増加	132	28.9%	187	40.9%	138	30.2%	457	100%
英語の資料の増加	253	56.1%	155	34.4%	43	9.5%	451	100%
探し方のわかりやすい説明	236	51.1%	172	37.2%	54	11.7%	462	100%
図書館員に手伝って欲しい	174	38.2%	174	38.2%	108	23.7%	456	100%
学習のスペースの増加	117	25.5%	163	35.6%	178	38.9%	458	100%
留学生担当の職員の配置	157	34.1%	158	34.3%	145	31.5%	460	100%
母国語の利用案内などの掲示	65	14.3%	139	30.7%	249	55.0%	453	100%

ビスを望んでいる。回答選択肢以外に望んでいるサービスとして挙げられたのは、「英語を話せる職員の配置」、「英語でのサービス提供」、「祝日、休日の貸出」、「開館時間の延長」、「各図書館・図書室のつながりを強くすること」などである。

質問12に関する理系・文系別の集計結果(図7)をみると、「自分の国(言語)の資料の増加」について、文系の留学生は「強く望む」または「望む」割合が高く、理系の留学生は「望まない」割合の方が高い傾向が認められる。これは文系の留学生の専攻分野や研究内容などに

関わっているものと推測される。

9. 「東京大学図書館でこれまで以上に収集して欲しい資料」(質問13)について、表12に示したように回答者の多くは質問の回答選択肢にあげたすべての資料を「強く望む」または「望む」と答えている。特に、「研究のための資料」の収集については、8割以上の回答者が「強く望む」と答えている。その他の収集して欲しい資料としては、資格試験関係資料、就職指導関係資料、ベストセラー、母国語の小説・文学、社会・文化・生活に関する日本語や英語の図書、新しい専門分野の図

図7 自分の国(言語)の資料の増加について(理系・文系別)

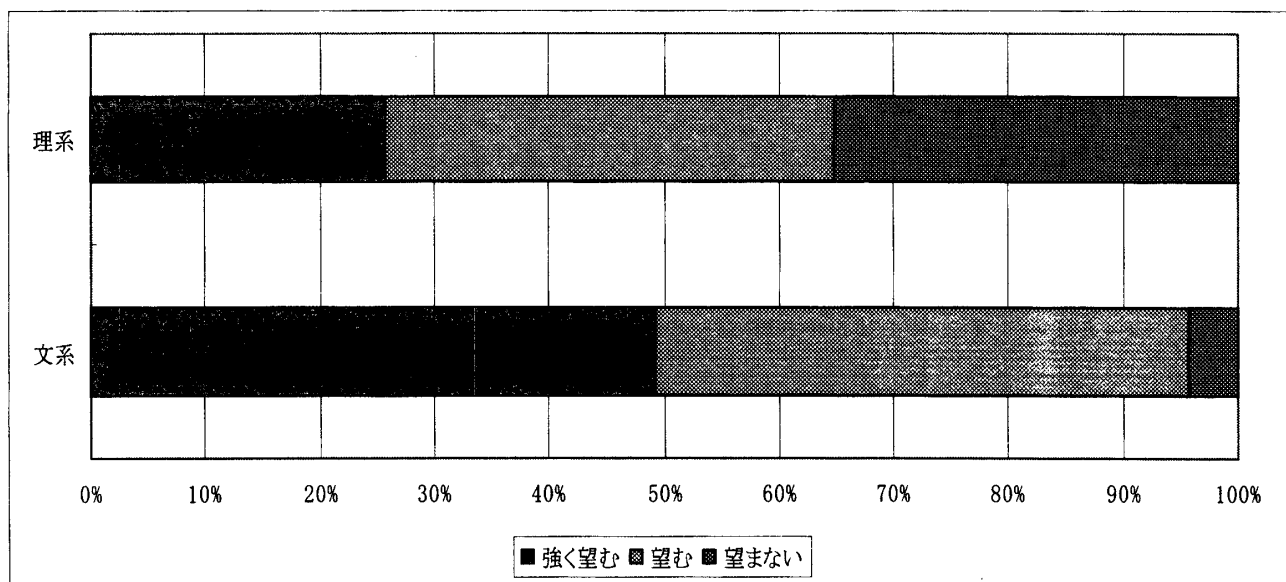


表12 東大の図書館・室の資料収集に対する希望

	強く望む		望む		望まない		合計	
	回答	比率	回答	比率	回答	比率	回答	比率
研究のための資料	393	83.8%	61	13.0%	15	3.2%	469	100%
母国の現状を知るための資料	105	22.9%	232	50.7%	121	26.4%	458	100%
生活情報を知るための資料	107	23.4%	212	46.4%	138	30.2%	457	100%
日本語学習テキスト	132	29.6%	185	41.5%	129	28.9%	446	100%
母国語・日本語対訳辞書	146	32.0%	176	38.6%	134	29.4%	456	100%

書(例えば、コンピュータ関係)などが挙げられている。

この回答結果から、今後、留学生の研究のための資料を充実させることに加えて、これまで不足していた留学生の生活面を支える資料をどこまで提供すべきかについて図書館として検討する必要があると考えられる。

4. まとめと課題

A. 調査結果のまとめ

今回のアンケート調査結果をまとめると、以下のようになっていることが明らかになった。

- ① 今回の調査結果から見ると東大の留学生は、学習・研究活動において所属の部局図書館・室や研究室の資料に大きく依存しており、また「インターネット」への依存度もきわめて高いことが明らかになった。また、理系・文系別の集計結果から、理系よりも文系の留学生の情報・資料入手方法の範囲が幅広く多岐にわたっている傾向が認められた。
- ② 母国に関する情報の入手についても、専ら「インターネット」を利用している実態が明らかになった。インターネットの利用に関しては理系・文系別の違いが見られなかった。
- ③ 図書館サービスの利用に関して、特にレファレンス・サービスや相互貸借の利用が低くなっている。またコンピュータ機器の利用に関しては理系より文系の留学生がよく利用している。
- ④ 回答者の半分以上がWebOPACをよく利用しているが、利用しにくいという指摘も多かった。
- ⑤ データベースや電子ジャーナルの利用は留学生の専攻分野によって異なるので、一概に評価できないが、サービス自体を知らない留学生が2割近くいることがわかった。電子ジャーナルの利用については文系よりも理系の学生がよく利用していることがわかった。
- ⑦ 総合図書館が外国人留学生を対象に提供しているサービス(留学生図書コーナー、衛星放送設備、外国語新聞コーナー)の利用率はそれほど高くはなく、そうしたサービス(特に図書コーナーと衛星放送)の存在を知らない回答者が多かった。
- ⑧ 図書館利用やデータベース利用などの各種利用教育への参加率は低く、参加したことのない留学生の多くはそのようなサービスの存在を知らなかった。

- ⑨ 東大の図書館・室にもっとも強く望まれているのは研究のための資料充実であり、それも英語の資料の増加が求められている。

B. 今後の課題

今回の調査では、プライバシーの問題があり、留学生の住所リストを利用できないので、直接、留学生個人に調査票を配布できなかった。その上、督促もできないといった調査上の限界があった。それに加えて部局・研究室を通しての間接的な配布方法にも大きなバラツキがあったことなどが、23.5%と低い回収率にとどまり、学部留学生の回答率が低く、理系に比べて文系の留学生の回答率が低かったことの主たる要因になったのではないかと推測される。その意味では調査結果には偏りがあり、この調査結果から留学生全体の情報利用の実態を推定することは難しいことは言うまでもない。しかしながら、こうした限界を十分に踏まえて、図書館・情報サービスに関して留学生固有の問題と他の学生にも共通する問題とを見極めながら今後のサービス方針・体制を検討する必要があると考える。

また本報告は調査結果の概要にとどまるものであるが、さらに詳しい実態を明らかにするために次の段階として、身分、専攻分野、出身地域、日本語レベル、滞在年数といった側面からの分析を行う予定である。

[付記] 東京大学附属図書館総務課・課長(調査時点)山下洋一氏には調査票の内容について、東京大学大学院教育学研究科博士課程の留学生・永見紀代子氏には英文調査票について、それぞれ貴重なアドバイスをいただいた。また東京大学事務局研究協力部留学生課・掛長(調査時点)小杉真人氏には調査票配布についてご助力いただいた。ここで3氏に厚くお礼申し上げる。

注・引用文献

- 1) 「我が国の留学生受入れ制度 100年の主なあゆみ」文部科学省 平成13年11月
- 2) 「留学生受入れの概況(平成13年版)」
(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/13/10/011008.htm)
- 3) 「知的国際貢献の発展と新たな留学生政策の展開を目指して - ポスト2,000年の留学生政策 -」留学生政策懇談会 平成11年3月24日
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/015/toushin/990301.htm)
- 4) 日本図書館研究会研究委員会 「留学生に対する大学図書館サービスの実態調査報告」, 「図書館界」 Vol.41, No. 5, 1990, p. 206-211.

- 5) 小林卓・高畑圭子 “留学生へのサービスの実態調査—関東の大学を中心に—”, 『図書館界』Vol.44, No. 2, 1992, p.82-87.
6) 日本図書館協会障害者サービス委員会「留学生サービスに関する調査」報告書 1998年調査]日本図書館協会, 1999.3, 27p.

- 7) 『学内広報』(東京大学広報委員会, 2001.6.13.)No.1216, p.8-19.

付録 1

アンケート調査のお願い

現在、東京大学では80カ国以上の国々から約2000名の外国人留学生が学部および大学院に在籍して、それぞれの専攻分野で勉学や研究に励んでいます。

留学生の皆さんは、恐らく日常生活や学習・研究面において様々な悩みや問題を抱えていると思います。東京大学は留学生の皆さんがよりよい環境で安心して勉学や研究に専念できるように、これまで様々な面での支援や条件整備をしてきていますが、まだまだ十分とはいえず、さらに改善・充実すべき点が数多くあると思います。その一つに図書館サービスを中心とする情報・資料提供サービスの充実・改善があります。

そのためには留学生の皆さんが日ごろの勉学や研究を進める上で必要な情報や資料をどのような方法で探し、入手し、利用しているかについての実態を把握する必要があります。そこで我々の図書館情報学研究室では、留学生の情報・資料についてのニーズや利用行動について調査して、その結果を情報・資料提供サービスの充実・改善に少しでも役立てたいと考えています。

勉学や研究にたいへん忙しい毎日だと思いますが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

また回答いただいた個人の情報には細心の注意を払い、機密保持を厳守することをお約束いたします。

まことに勝手ですが、回答(日本語版か英語版、どちらか一方でけっこうです)は返信用の封筒に入れて切手を貼らずに2002年1月31日までに郵送していただければ幸いです。

なお本調査について分からないことがあれば、下記に問い合わせください。

2001年11月28日

「外国人留学生図書館利用調査プロジェクト」
代表 東京大学大学院教育学研究科
教授 三浦 逸雄

連絡先：〒113-0033
東京大学大学院教育学研究科
図書館情報学研究室
三浦逸雄
Tel&Fax.03-5841-3973
E-mail: miura@educan.p.u-tokyo.ac.jp

外国人留学生図書館利用アンケート調査票

1 あなたの資料・情報ニーズの充足手段についておたずねします。

- (1) 学習や研究のための資料や情報の入手方法についておたずねします。各番号のものと該当する記号(A:よく利用している B:あまり利用していない C:利用したことがない)を○で囲んでください。

1. 東京大学の図書館(総合図書館, 部局図書館・室)..... A B C
2. 東大以外の専門図書館・大学図書館..... A B C
3. 地域の公共図書館..... A B C
4. 所属研究室の資料..... A B C
5. インターネット..... A B C
6. 書店(新刊書店・古書店)で購入..... A B C
7. 友人などから情報や資料を入手..... A B C
8. 教員から情報や資料を入手..... A B C
9. その他(具体的に書いて下さい: _____)

(2) 母国に関する情報の入手方法についておたずねします。各番号のものと該当する記号(A:よく利用している B:あまり利用していない C:利用したことがない)を○で囲んでください。

1. インターネット..... A B C
2. 日本語の新聞・雑誌など..... A B C
3. 英語の新聞・雑誌など..... A B C
4. 英語・母国語以外の外国語の新聞・雑誌など..... A B C
5. 日本で出版された母国語の新聞・雑誌など..... A B C
6. 母国で出版された新聞・雑誌など..... A B C
7. テレビやラジオ..... A B C
8. その他(具体的に書いてください: _____)

II あなたの図書館利用についておたずねします。

(3) 東京大学の図書館・室の利用についておたずねします。各番号のものと該当する記号(A:よく利用している B:あまり利用していない C:利用したことがない)を○で囲んで下さい。

1. 総合図書館..... A B C
2. 自分が所属する学部(研究所・研究センター・学科・コース・研究室など)図書館・室..... A B C
3. それ以外の学部(研究所・研究センター・学科・コース・研究室)図書室..... A B C
4. その他(具体的に書いて下さい: _____)

(4) 東大の図書館・室が提供しているサービスの利用についておたずねします。各番号のものと該当する記号(A:よく利用している B:あまり利用していない C:利用したことがない)を○で囲んで下さい。

1. 図書の閲覧・貸出・コピー..... A B C
2. レファレンス(相談)サービス..... A B C
3. 雑誌の閲覧・貸出・コピー..... A B C
4. 相互貸借サービス(文献複写・現物貸借)..... A B C
5. 新聞の閲覧..... A B C
6. コンピュータ機器の利用..... A B C
7. 学習のためのスペース..... A B C
8. その他(具体的に書いて下さい: _____)

(5) 東京大学附属図書館のオンライン目録(WebOPAC)の利用についておたずねします。該当する番号を○で囲んで下さい。

1. よく利用している
2. あまり利用していない

3. WebOPAC を知らない → (7)へ
4. 知っているが利用したことがない → (7)へ
- (6) 東京大学のオンライン目録は利用しやすいと思いますか。該当する番号を○で囲んで下さい。
1. 利用しやすい
 2. 全体として利用しやすいが、利用しにくいところもある
 3. 利用しにくい(理由を書いて下さい：_____)
 4. わからない
- (7) 東京大学の図書館・室が提供しているデータベースサービス(Web of Science, FELIX(雑誌記事索引, SwetScan, PCI), Medline, Compendix Plus, First Search など)の利用についておたずねします。該当する番号を○で囲んで下さい。
1. よく利用している
 2. あまり利用していない
 3. データベース・サービスを知らない
 4. 知っているが利用したことがない
→その理由は何ですか。該当する記号を○で囲んで下さい。
A. 必要がない
B. 使い方がわからない
C. その他(具体的に書いて下さい：_____)
- (8) 東京大学附属図書館が提供する電子ジャーナルの利用についておたずねします。該当する番号を○で囲んで下さい。
1. よく利用している
 2. あまり利用していない
 3. 電子ジャーナルの提供について知らない
 4. 知っているが利用したことがない
→その理由は何ですか。該当する記号を○で囲んで下さい。
A. 必要がない
B. 使い方がわからない
C. その他(具体的に書いて下さい：_____)
- (9) 東京大学総合図書館が提供している次のサービスを利用したことがありますか。各番号のものと該当する記号(A：よく利用している B：あまり利用していない C：知らない D：知っているが利用したことがない)を○で囲んで下さい。
- | | | | | |
|---------------------------|---|---|---|---|
| 1. 留学生図書コーナー..... | A | B | C | D |
| 2. 衛星放送(CNN, BBC)設備 | A | B | C | D |
| 3. 新聞コーナーの母国語新聞..... | A | B | C | D |
- (10) 東京大学の図書館(総合図書館や部局図書館・室)が実施しているオリエンテーションに参加したことがありますか。該当する番号を○で囲んで下さい。
1. 参加したことがある
→現在、役に立っていますか。該当する記号を○で囲んで下さい。
A. 役に立っている
B. 役に立っていない

C. わからない

2. 参加したことがない

→その理由は何ですか。該当する記号を○で囲んで下さい。

A. 必要がない

B. 参加する時間がない

C. オリエンテーションを知らなかった

(11) あなたは東京大学情報基盤センターが開いているデータベース定期講習会に参加したことがありますか。該当する番号を○で囲んで下さい。

1. 参加したことがある

→役に立っていますか。該当する記号を○で囲んで下さい。

A. 役立っている

B. 役立っていない

C. わからない

2. 参加したことがない

→その理由は何ですか。該当する記号を○で囲んで下さい。

A. 必要がない

B. 参加する時間がない

C. 知らなかった

(12) あなたは東京大学の図書館にどのようなサービスを望んでいますか。各番号のものと該当する記号(A:強く望む B:望む C:望まない)を○で囲んで下さい。

1. 自分の国(言語)の資料を増やして欲しい..... A B C
2. 英語の資料を増やして欲しい..... A B C
3. 文献や情報の探し方をわかりやすく説明して欲しい..... A B C
4. 資料や情報の収集を図書館員に手伝って欲しい..... A B C
5. 学習のスペースを増やして欲しい..... A B C
6. 留学生担当の職員を配置して欲しい..... A B C
7. 母国語の利用案内・館内掲示が欲しい..... A B C
8. その他(具体的に書いて下さい: _____)

(13) どのような資料を東京大学の図書館でこれまで以上に収集して欲しいとお考えですか。各番号のものと該当する記号(A:強く望む B:望む C:望まない)を○で囲んで下さい。

1. 研究のための資料..... A B C
2. 母国の現状を知るための資料..... A B C
3. 生活情報を知るための資料..... A B C
4. 日本語学習テキスト..... A B C
5. 母国語・日本語対訳辞書..... A B C
7. その他(具体的に書いてください: _____)

III 最後にあなた自身のことをおたずねします。

(14) あなたはどこの国の出身ですか.....()

(15) あなたは日本に何年滞在していますか.....()年

(16) どの程度日本語ができますか。該当する番号を○で囲んでください。

1. 話すことも読むこともよくできる
2. 話すことはよくできるが、読むことはあまりできない
3. 読むことはできるが、話すことがあまりできない
4. 話すことも読むこともあまりできない

(17) あなたの専攻分野はなんですか.....()

(18) あなたの東京大学における身分はなんですか。該当する番号を○で囲んでください。

1. 学部学生
2. 学部研究生
3. 大学院生(修士)
4. 大学院生(博士)
5. 大学院研究生
6. 研究所研究生
7. その他(具体的に書いて下さい: _____)

ご協力ありがとうございました。

付録 2

SURVEY ON FOREIGN STUDENTS' USES OF THE LIBRARY SERVICES AND RESOURCES
IN THE UNIVERSITY OF TOKYO

The University of Tokyo has a total enrollment of about 2000 foreign students from more than 80 countries. They are engaged in their studies and researches at the graduate and undergraduate levels. Most of them may have many problems in doing their various activities on campus. Although the University has made efforts to provide more effective and comfortable environments for study and research, including library and information services, it leaves much room for improvement.

The purpose of the survey is to collect data that will help the university library administration to improve the quality of the library services and resources and develop new service programs for foreign students.

Of course, we know that you are busy, but we would like you to participate in our study because with your response (Japanese version or English version), we will be able to improve our libraries and information facilities at the university. Your answer will be treated with confidence and only aggregated data will be used in any reports.

Please complete and submit your responses by mail using a return envelope (orange one) without stamp no later than 2002 January 31.

If you have questions, please ask Itsuo Miura at miura@p.u-tokyo.ac.jp.

Thank you for your participation.

Itsuo Miura
Director of the Library User Survey Project

Professor of Library and Information Science
 Graduate School of Education
 University of Tokyo
 Tel&Fax.03-5841-3973
 E-mail: miura@p.u-tokyo.ac.jp

Questionnaire

I How do you satisfy your needs for library and information resources?

(1) How do you satisfy your information needs in doing your study and research? Please circle the following information sources on a scale of A (often use) or B (seldom use) or C (never use).

1. Libraries in the University of Tokyo (General Library or faculty/institution/department's libraries) A B C
2. Other university libraries or special libraries A B C
3. Public libraries A B C
4. Materials kept in your laboratory A B C
5. Internet A B C
6. Bookstores (including used bookstores) A B C
7. Your friends A B C
8. Faculties (professors) A B C
9. Other (please specify) _____

(2) How do you satisfy your needs for information on your home country? Please circle the following information sources on a scale of A (often use) or B (seldom use) or C (never use).

1. Internet A B C
2. Newspapers or journals published in Japan (printed in Japanese language) A B C
3. Newspapers or journals published in Japan (printed in your native language) A B C
4. Newspapers or journals printed in English A B C
5. Newspapers or journals from foreign countries (printed in foreign languages) A B C
6. Newspapers or journals published in your home country A B C
7. TV or radio A B C
8. Other (please specify) _____

II How often do you use libraries?

(3) How often do you use libraries in the University of Tokyo? Please circle the following libraries on a scale of A (often use) or B (seldom use) or C (never use).

1. General Library A B C
2. Libraries of your faculty/institution/department/laboratory A B C
3. Libraries of other faculties/institutions/laboratories A B C
4. Other (please specify) _____

(4) How often do you use services provided by libraries in the University of Tokyo? Please circle the following services on a scale of A (often use) or B (seldom use) or C (never use).

1. Reading or borrowing or copying books A B C

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 2. Reference services | A | B | C |
| 3. Reading or borrowing or copying journals | A | B | C |
| 4. Inter-library loan/copy services | A | B | C |
| 5. Reading newspapers | A | B | C |
| 6. Using computer terminals | A | B | C |
| 7. Using space for studying | A | B | C |
| 8. Other (please specify) _____ | | | |

(5) How often do you use the online catalog (WebOPAC) of the University of Tokyo?

1. I have often used WebOPAC.
2. I have seldom used WebOPAC.
3. I don't know WebOPAC. (Go to (7))
4. I know WebOPAC, but I have never used it. (Go to (7))

(6) How would you rate WebOPAC's ease of use? Please circle one number to indicate your choice.

1. Easy
2. Generally easy, but partially hard
3. Hard (please explain) _____
4. Don't know

(7) How often do you use database services provided by libraries in the University of Tokyo (e. g. Web of Science, FELIX, Medline, Compendix Plus, First Search)?

1. I have often used them.
2. I have seldom used them.
3. I don't know them.
4. I know them, but I have never used them.

→ Please explain the reason.

- A. They aren't necessary for me.
- B. I don't know how to use them.
- C. Other (please specify) _____

(8) How often do you use electronic journals provided by libraries in the University of Tokyo?

1. I have often used them.
2. I have seldom used them.
3. I don't know them.
4. I know them, but I have never used them.

→ Please explain the reason.

- A. They aren't necessary for me.
- B. I don't know how to use them.
- C. Other (please specify) _____

(9) Do you use services provided by General Library of the University of Tokyo? Please circle the following services on a scale of A(I have often used it) or B(I have seldom used it) or C(I don't know it) or D(I know it, but I have never used it).

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1. Collection of books for foreign students | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|

2. Facilities for satellite broadcast (CNN, BBC) reception..... A B C D
3. Foreign newspapers in the newspaper corner..... A B C D
- (10) Have you ever participated in the orientation conducted by libraries in the University of Tokyo?
1. Yes
→ Was it useful?
A. Yes
B. No
C. Don't know
2. No
→ Why didn't you participate in the orientation?
A. It wasn't necessary for me.
B. I had no time to participate in it.
C. I didn't know about it.
- (11) Have you ever participated in the database training courses conducted by Information Technology Center of the University of Tokyo?
1. Yes
→ Was it useful?
A. Yes
B. No
C. Don't know
2. No
→ Why didn't you participate in the database training courses?
A. They weren't necessary for me.
B. I had no time to participate in them.
C. I didn't know about them.
- (12) Do you expect for the following services of libraries in the University of Tokyo? Please circle them on a scale of A (strongly expect) or B (expect) or C (don't expect).
1. More materials published in your home country (printed in your native language) A B C
2. More materials printed in English A B C
3. Easier instruction how to search materials and information A B C
4. Help of librarians for locating materials and information A B C
5. More space for studying A B C
6. Librarians in charge of services for foreign students A B C
7. Library guides and signs printed in your native language A B C
8. Other (please specify) _____
- (13) Do you expect that libraries in the University of Tokyo collect the following materials more? Please circle them on a scale of A (strongly expect) or B (expect) or C (don't expect).
1. Materials (books, journals, others) to support your research A B C
2. Materials containing international information A B C
3. Materials containing news of your home country A B C
4. Materials containing information for social life A B C

5. Textbooks for learning Japanese A B C
 6. Your native language-Japanese dictionaries A B C
 7. Other (please specify) _____

III Provide the following information about yourself.

(14) Where do you come from?

(15) How long have you been in Japan?

(16) Can you speak and read Japanese? Please circle one number to indicate your choice.

1. I can speak and read Japanese well.
2. I can speak Japanese well, but cannot read Japanese well.
3. I can read Japanese well, but cannot speak Japanese well.
4. I can neither speak nor read Japanese well.

(17) What do you major in?

(18) What is your status in the University of Tokyo?

1. Undergraduate student
2. Research student of the undergraduate school
3. Graduate student (master course)
4. Graduate student (doctor course)
5. Research student of the graduate school
6. Research student of the institution
7. Other (please specify) _____

Thank you for your cooperation.